

愛南学校探訪

読書感想画中央コンクールで
優良賞を受賞

成宮 菜津子 さん
(城辺中学校 3年)

第28回読書感想画中央コンクールで、成宮菜津子さんが優良賞を受賞しました。成宮さんは、全国都道府県対抗男子駅伝に出場する福岡県チームに焦点を当てた課題図書「白をつなぐ」(作…まはら三桃)を読み、感想画を描きました。絵に込めた思いやこの本から学んだこと、将来の夢などについてお聞きしました。

熱い想いを描きたい

普段は友達に薦められた本を読むという成宮さん。今回選んだ図書は国語の先生からの薦めでした。「この本に登場するランナーやコーチは、年齢や置

かれている環境がばらばらなのに、目的が一つで、熱い想いを持っている。絵にしがいがある」と考え、この本に決めました。

1枚の絵に描くということ

作中に登場するのは、中学生から社会人までのランナーやコーチ、補欠選手、それぞれの家族などです。各々が悩みを抱えながらも、大会には真つ白な気持ちで臨もうとする登場人物の心情をしっかりと理解しようとしてきました。

「感動した点や印象に残る部分はたくさんありましたが、全てを1枚にはまとめられないので、特に印象に残ったところだけを描くようにしました」と、制作時の苦勞を話します。

努力に光を当てたい

読了後は絵の構図を練り、二週間以上かけて制作しました。



第28回読書感想画中央コンクール受賞作品
主催：(公社)全国学校図書館協議会、毎日新聞社
実施都道府県学校図書館協議会

中心に描かれたのは最終区を任された社会人ランナー。実業団に所属するベテラン選手ですが、目立った成績が残せず、日の当たらない競技人生を歩んできました。

「努力が報われずつらい思いをしてきたランナーが、一生懸命走って最後に良い記録を出した。そこに光を当てたかった」と話します。自分の走りが出て、涙を流す中学生ランナーの胸からは光が差す様子が描かれています。

失敗は次への向上心

作中とは異なり、成宮さんが描いたのは虹色のたすき。選手

たちの熱い想いを色で表現しました。自らと同年代に当たる中学生ランナーに対しては、「申し訳なさや悔しい気持ちを持つた彼が、来年こそは走り切りた」と言った。一つの失敗が次への向上心につながるということを学びました」と話します。

目標を持ち、努力を重ねたい

大会に向けてまとまっていくなメンバーに感動したという成宮さん。「私も日々目標を持ち、努力を重ねたい。将来は美術関係の仕事に就きたいので、高校でも美術部に入り、部活動と勉強を両立したい」と笑顔で話しました。

ジュニアアスリートに認定 スポーツでの活躍に期待！



倉田裕斗くん (平城小学校 6年)
近平大和くん (平城小学校 5年)

えひめ愛顔のジュニアアスリートに認定された倉田くんと近平くん。倉田くんは平成27年度に認定され、今年度、ジュニアアスリートとして活動してきました。近平くんは今年度に認定を受け、来年度から活動を開始します。認定を受けるまでの過程や意気込み、将来の夢などについてお聞きしました。

応募した理由

倉田 もともとスポーツは得意な方なので、自分から応募したいと思いました。

近平 自分で申し込むつもりはなかったけど、お母さんに勧められて応募しました。

認定を受けるまで

倉田 最初に学校で受けた体力テストで審査があります。それに通ればセカンドトライアルとして、宇和島や松山でスポーツテストを受けて選考されます。スポーツを指導してくれる先生との面談もあります。

普段はスポーツをしていますか？

倉田 サッカーや陸上競技をしています。陸上ではいろんな種目をやっています。

近平 サッカーや陸上、水泳をしています。

得意種目と苦手種目は？

倉田 陸上競技では走り高跳びと、長距離や短距離などの走る種目が得意です。垂直跳びが苦手です。

近平 パイプの上に乗ってバランスを取る種目や、光の色が変

わつたらジャンプする反応テストが得意です。コーンにタッチして走るマルチステップなど、スピードが必要な種目は苦手です。

認定されると思いましたか？

倉田 周りがどれくらいできる人たちが分からず、自分が選ばれるか分からなかったです。

近平 周りにすごくできる人が多かったので、自分になれるか不安でした。

ジュニアアスリートになってみて

倉田 メダリストの話が聞けて、そういう人たちが努力してきたことが分かりました。自分も頑張ろうと思いました。

近平 陸上の朝原選手に会えたのが嬉しかったです。努力が必要と言っていたのが印象に残りました。

これからの意気込み

倉田 認定されてから腕立てや腹筋など、自主トレを始めました。先輩たちの記録や、同年代の人たちに負けないように頑張りたいです。

近平 お父さんと縄跳びをしたり、自分でストレッツをしたりするようにになりました。自分は2期生なので、先に認定されている同年の人たちに追い

つけるように頑張りたいです。

将来の夢は？

倉田 勉強が好きなので、まずは大学に行くことです。サッカー選手かスポーツ関係の仕事がしたいと思っています。

近平 サッカー選手かサッカーに関係する仕事、または小学校の体育の先生になりたいです。

二人はこれからジュニアアスリートとして月に2〜4回程度、さまざまなスポーツをこなしていきます。取り組んだことのない種目もあり、経験を経ることで成長し、スポーツの分野での活躍が期待されます。

えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業とは

科学的な手法を用いてスポーツの潜在的な才能を有する県内の小中学生を発掘し、中学3年生までの期間、育成・強化することにより、将来、国際大会で活躍する日本代表選手を愛媛県から輩出することを目指すとともに、将来の愛媛県スポーツ界の指導者となり得る人材を養成することを目的としています。

愛南町では、倉田くん、近平くんのほか、御荘中学校1年生の白石幸誠くんが認定されています。